

ICTプロジェクト

## 高校生熟議 in 大阪

～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～

### 開催報告書

第一回 2011年7月16日(土)

第二回 2011年8月27日(土)

第三回 2011年11月3日(木)

【会場】大阪ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行大阪支店)

主催・共催

大阪私学教育情報化研究会

安心ネットづくり促進協議会

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

2011年11月17日

第10版



## 目 次

|     |                                   |    |
|-----|-----------------------------------|----|
| 1.  | 「高校生熟議 in 大阪」開催概要.....            | 1  |
| 2.  | 第一回リアル熟議 開催概要.....                | 4  |
| 3.  | 第一回ネット熟議 開催概要.....                | 8  |
| 4.  | 第二回リアル熟議 ファシリテーター会議 模擬熟議開催概要..... | 10 |
| 5.  | 第二回リアル熟議 開催概要.....                | 13 |
| 6.  | 第二回ネット熟議 開催概要.....                | 17 |
| 7.  | 第三回ネット熟議 開催概要.....                | 19 |
| 8.  | 第三回リアル熟議 開催概要.....                | 22 |
| 9.  | 高校生熟議 in 大阪 最終報告会 開催概要.....       | 26 |
| 10. | 開催プログラム.....                      | 28 |
| 11. | 担当.....                           | 31 |
| 12. | リアル熟議 成果物と終了後の対応.....             | 31 |
| 13. | ネット熟議 進行と成果物.....                 | 31 |

## 1. 「高校生熟議 in 大阪」開催概要

|        |  |
|--------|--|
| 名 称：   | ICTプロジェクト 高校生熟議 <sup>1)</sup> in 大阪<br>～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～  |
| 主催・共催： | 大阪私学教育情報化研究会 <sup>2)</sup><br>安心ネットづくり促進協議会<br>一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構  |
| 後 援：   | 文部科学省<br>総務省 近畿総合通信局   |
| 熟議支援：  | 文部科学省<br>「リアル熟議」は教育現場の皆さまに主催いただきます。文部科学省は、テーマに関する基礎資料の提供、参考資料「熟議実践パッケージ熟議虎の巻」や「実施後アンケートテンプレート」の提供、Web サイト熟議カケアイへの実施告知や熟議結果の掲載等の支援を行ってまいります。<br>(『文部科学省「熟議」に基づく教育政策形成の取組』より)  |
| 協 力：   | 株式会社内田洋行、株式会社 BITS PUZZLE、一般財団法人日本脳力研究協会<br>株式会社 SDV ホールディングス、株式会社モバイルスタッフ   |
| 開催目的：  | ICT プロジェクト ( International and Communication Technology Project ): 『高校生の情報化と国際化に対応できるコミュニケーション能力育成に関する実証研究』とし新しい活動の一つとして大阪私学教育情報化研究会が 2003 年度から取り組みを始めました。近年その重要性和必要性が叫ばれるプレゼンテーションですが、教育現場ではプレゼンテーションのためのプレゼンテーションの練習に焦点がおかれているようです。実社会でプレゼンテーションが効果を持つためには基礎となるコミュニケーション能力の開発が前提となることが学校教育では見落とされがちなようです。このプロジェクトでは参加校から数名ずつの生徒を対象に、数回のセッションを行いプレゼンテーションの総合的な技能の向上を目指そうという企画で実施してきました。今年は昨年までと違い文部科学省がすすめる「熟議」という手法で数回のセッションを通して段階的に「考え、まとめる、話す、見せる、伝える」などの技術を練習していきます。それぞれの学校の生徒・担当者を中心にゲストのレクチャーも交えて、ケータイ・インターネットという身近なテーマと内容でプレゼンテーションの新しい形を模索し新しい時代に対応できる力の養成を図ろうと考えています。<br>平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政府に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年 4 月の小学校を皮切りに、年度毎に中学校、高等学校と全面实施される。急速に進化を続ける ICT ( 情報通信技術 ) を背景に、青少年が健全に ICT を活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。本プロジェクトでは、ケータイとインターネットに関する熟議から、コミュニティサイト等の利用による ICT を通じた権利やインターネット利用におけるさまざまな問題への理解について、高校生が家庭や学校で如何に取組むべきかを先進的な取組を提案し参考に資する。 |

|                           |  |
|---------------------------|--|
| <p>概要：</p>                | <p>【リアル熟議<sup>3)</sup>】<br/> <b>第一回 「ネットとケータイの問題点」</b><br/> (1) アイスブレイク (2) 熟議イントロダクション (3) 熟議 (4) グループ発表<br/> <b>第二回 「私達にとってのケータイ、インターネットとは」</b><br/> (1) ネット熟議について (2) サービス側の声 (3) 熟議 (4) グループ発表<br/> <b>第三回 「これからのネットとケータイを考える」</b><br/> (1) 講演 (2) 熟議 (3) グループ発表 (4) 講評 総括<br/> 【ネット熟議<sup>4)</sup>】<br/> 上記リアル熟議の間の期間に、文部科学省政策創造エンジン「熟議カケアイ」サイトにてインターネット上でのネット熟議を実施</p>   |
| <p>「リアル熟議」<br/>参加予定校：</p> | <p>〔大阪府〕大阪羽衣学園高等学校、大阪学院大学高等学校、箕面学園高校、プール学院高校、大阪薫英学院高等学校、清教学園高校 堺女子高等学校<br/> 〔京都府〕京都女子高等学校<br/> 〔兵庫県〕兵庫県立神戸商業高等学校、須磨学園高校<br/> 〔奈良県〕関西中央高等学校 奈良県立奈良朱雀高等学校<br/> 他、近畿一円を始めとして、中部地方など各地から募集</p>   |
| <p>日時：</p>                | <p>第一回 2011年7月16日(土)13:30-17:00<br/> 第二回 2011年8月27日(土)13:30-17:00<br/> 第三回 2011年11月3日(土)11:30-17:00</p>  |
| <p>場所：<br/>(各回とも)</p>     | <p>大阪ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行大阪支店)<br/> 大阪市中央区和泉町 2-2-2<br/> アクセス 地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目駅」8番出口より徒歩8分</p>   |
| <p>募集人数：</p>              | <p>募集熟議参加生徒 30名<br/> 募集見学者各回 30名</p>   |
| <p>参加費：</p>               | <p>参加費無料 [事前登録] <a href="http://www.osaka-sigaku.net/ict/index.htm">http://www.osaka-sigaku.net/ict/index.htm</a></p>  |
| <p>参加予定者<br/>及び人数：</p>    | <p>〔熟議参加高校生〕各回 30名<br/> ・上記参加校の他、近畿一円を始めとして全国から募集<br/> 〔ファシリテーター・ファシリテーター補助・書記〕各回とも各 18名 計 54名<br/> ・大阪私学教育情報化研究会 所属教員<br/> ・参加校 所属教員<br/> ・関西大学他の大学生<br/> ・サイト監視会社、SNS運営会社等の事業者<br/> ・安心ネットづくり促進協議会 所属会員<br/> ・一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 所属会員<br/> 〔来賓・登壇者〕各回 3人以上 計9人以上<br/> ・総務省 総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課 課長補佐 中村朋浩 様<br/> ・文部科学省 生涯学習政策局 政策課<br/> ・文部科学省 スポーツ・青少年局青少年課 課長補佐 関根章文 様<br/> ・(講評) 日本教育工学協会 理事/熊本市立河内中学校 教頭 桑崎 剛 先生<br/> ・大阪私学教育情報化研究会 会長 白井孝雄 先生<br/> ・大阪私学教育情報化研究会 副会長 米田謙三 先生</p> |

|                          |  |
|--------------------------|--|
|                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・違法・有害情報相談センター 実務アドバイザー 鎌田真樹子 様</li> <li>・株式会社ガイアックス、NHN Japan 株式会社、グリー株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー 他</li> </ul> <p>〔アドバイザー参加〕各回1名 計3名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢星陵大学 人間科学部こども学科 教授 村井万寿夫 先生</li> <li>・柏市教育委員会 柏市立教育研究所 指導主事 佐和伸明 様</li> <li>・安心ネットづくり促進協議会 普及啓発委員会 副委員長 尾花紀子 様</li> </ul> <p>〔見学者〕各回50人以上 計150人以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心ネットづくり促進協議会 事務局</li> <li>・一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 事務局</li> <li>・株式会社内田洋行</li> <li>・株式会社 BITS PUZZLE</li> <li>・株式会社 SDV ホールディングス、株式会社モバイルスタッフ</li> <li>・応募見学者</li> </ul> <p>近畿一円を中心とした各地の高校生による熟議をより密度の濃いものとするために、子どもとケータイやネットに知見を有する全国各地の教職員を始めとして、学識者、有識者、民間団体、事業者がサポートし、各回、総勢100名以上が参加する予定です。</p> <p>なお、今回の開催を契機に、全国の学識者や有識者がサポートすることにより、各地の高校生熟議の開催に拡げていく予定です。</p> |
| <p>ネット熟議<br/>スケジュール：</p> | <p>第一回 2011年7月17日(日)00:00~2011年8月21日(日)24:00<br/>熟議テーマ「<b>ネットとケータイの問題点</b>」</p> <p>第二回 2011年8月28日(日)00:00~2011年9月25日(日)24:00<br/>熟議テーマ「<b>高校生にとってのケータイ、インターネットとは</b>」</p> <p>第三回 2011年9月26日(日)00:00~2011年10月26日(水)24:00<br/>熟議テーマ「<b>これからのネットとケータイを考える</b>」</p> <p>文部科学省 政策創造エンジン 熟議カケアイ (<a href="http://jukugi.mext.go.jp/">http://jukugi.mext.go.jp/</a>)<br/>(ネット熟議に参加するには、サイト上で会員登録が必要です。)</p>  |
| <p>運営責任者：</p>            | <p>[総責任者]<br/>大阪私学教育情報化研究会 副会長 羽衣学園高校 教諭<br/>米田謙三 kenzoo@cd5.so-net.ne.jp</p> <p>[熟議担当者]<br/>文科省「熟議」に基づく教育政策形成の在り方に関する懇談会委員<br/>鎌田真樹子 kamata@growing-tree.jp</p> <p>[企画・運営担当]<br/>安心ネットづくり促進協議会 事務局<br/>石原友信 ishihara@fmmc.or.jp 03-5403-0427<br/>東京都港区虎ノ門三丁目22番1号 秀和第二芝公園三丁目ビル2階<br/>一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用 事務局<br/>吉岡良平 yoshioka_r@ema.or.jp 03-69313-9235<br/>東京都港区西麻布1-4-38 千歳ビル3階</p>   |

## 2. 第一回リアル熟議 開催概要

|               |  |
|---------------|--|
| <p>第1回概要：</p> | <p>第1回は高校生、教員、企業関係者など90名以上の参加者を得て、「ネットとケータイの問題点」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>【第1部】</p> <p>総務省総合通信基盤局の中村氏よりインターネットと違法・有害情報への政府の取組が紹介された。</p> <p>「論理的思考力を鍛えるアイスブレイク」</p> <p>米田教諭（羽衣学園高校）の説明に始まり、続いてグループ内で自己紹介を行いました。グループの融和に利用されたのは、「BITS PUZZLE」と呼ばれるパズル。iPodやiPadを交互に使用して体験した後、実物のパズルも体験し打ち解けた雰囲気となりました。</p> <p>【第2部】</p> <p>『熟議とは』</p> <p>熟議の委員を務める違法有害情報相談センター実務アドバイザーの鎌田氏より熟議の定義が説明された。熟議では、意見交換のプロセスが大切であることが強調された。参加の高校生は熟議を行って問題について理解を深め意見交換を行う中で、自分とは異なる意見を尊重し、また共感して問題解決につなげる意義を感じたようであった。またインターネットを活用して行われるネット熟議「熟議カケアイ」についても積極的な参加が呼びかけられた。</p> <p>熟議 多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決・政策形成をしていくこと。</p> <p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 多くの当事者（保護者、教員、地域住民等）が集まって、</li><li>2. 課題について学習・熟慮し、議論をすることにより、</li><li>3. 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、</li><li>4. 解決策が洗練され、</li><li>5. 個々人が納得して自分の役割を果たすようになる、</li></ol> <p>グループに分かれ本研究会の教員がファシリテーターとなって、高校生熟議を開始しました。高校生たちは付箋紙にインターネットの問題点をメモし、意見を出し合っていきます。歓声上がるほど活発な意見交換が、ブログや掲示板、ツイッター、出会い系サイトなどについて出されました。自分たちのケータイへの依存の高さも振り返っていました。付箋紙を模造紙に貼り付けていく中で意見を整理分類して、各グループでまとめて行きました。</p> <p>【第3部】</p> |
|---------------|--|

|                 |  |
|-----------------|--|
|                 | <p>グループごとにまとめた内容を発表していきました。</p> <p>1班の発表は、フィルタリングの効果や掲示板、ブログなどでの情報の判断力についてです。2班からは、加えて個人情報の問題やチケット料金についての課題が出されました。3班からは、ウィルスの問題、対面でのコミュニケーションの大切さが指摘されました。4班からは、チェーンメールの問題やネット利用の自己抑制の重要性があげられました。5班は、ケータイ依存の問題やネット犯罪での被害者加害者を想定することで理解を深める内容でした。6班は、マインドマップを活用してネット依存によるコミュニケーション不足やネット投稿の問題点を簡潔にまとめて、講評の日本教育工学協会理事・熊本市立河内中学校教頭の桑崎剛先生より評価を得ていました。</p> <p>最後に鎌田氏より熟議カケアイのサイトで引き続きオンライン上の議論をすることが呼びかけられました。次回の8月21日まで書き込むことができるので、オンライン上でも自分の意見を的確に主張してほしいと高校生に求められていました。</p> <p>詳細は別紙「熟議録」をご参照ください。</p> |
| 「リアル熟議」<br>参加校： | <p>〔大阪府〕羽衣学園高等学校、大阪学院大学高等学校、大阪薫英女学院高等学校、堺女子高等学校</p> <p>〔京都府〕京都女子高等学校</p> <p>〔兵庫県〕兵庫県立神戸商業高等学校</p> <p>〔奈良県〕関西中央高等学校 奈良県立奈良朱雀高等学校</p>  |
| 日 時：            | 2011年7月16日(土) 13:30-17:00  |
| 場 所：            | <p>大阪ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行大阪支店)</p> <p>大阪府中央区和泉町2-2-2</p> <p>アクセス 地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目駅」8番出口より徒歩8分</p>  |
| 参加人数：           | <p>熟議参加生徒 37人</p> <p>見学者 59人(教員・教育関係者27人 その他32人)</p> <p>合計：96人</p>   |
| 熟議グループ：         | <p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。</p> <p>【第1班】8人</p> <p>羽衣学園高等学校 3年 女子</p> <p>羽衣学園高等学校 2年 女子</p> <p>奈良県立奈良朱雀高等学校 3年 男子</p> <p>大阪薫英女学院高等学校 1年 女子</p> <p>大阪薫英女学院高等学校 1年 女子</p> <p>大阪薫英女学院高等学校 1年 女子</p> <p>兵庫県立神戸商業高等学校 3年 女子</p> <p>関西中央高等学校 2年 男子</p> <p>〔ファシリテーター〕</p> <p>聖母被昇天学院中学校高等学校 教諭 岡本弘之 先生</p> <p>〔書記〕</p>  |

大阪電気通信大学 當山達也

【第2班】5人

羽衣学園高等学校 3年 女子

関西中央高等学校 2年 男子

奈良県立奈良朱雀高等学校 1年 男子

堺女子高等学校 1年 女子

大阪学院大学高等学校 1年 男子

〔ファシリテーター〕

大阪府立布施高等学校 教諭 竹内健二 先生

〔書記〕

宝塚大学 中川芳剛

【第3班】7人

大阪薫英女学院高等学校 1年 女子

大阪薫英女学院高等学校 1年 女子

大阪薫英女学院高等学校 1年 女子

羽衣学園高等学校 2年 女子

兵庫県立神戸商業高等学校 3年 女子

京都女子高等学校 3年 女子

大阪学院大学高等学校 1年 男子

〔ファシリテーター〕

大阪府立春日丘高等学校 教諭 吉村剛志 先生

〔書記〕

滋賀大学 大学院教育学研究科 横山成彦

【第4班】6人

京都女子高等学校 3年 女子

兵庫県立神戸商業高等学校 3年 女子

羽衣学園高等学校 2年 女子

大阪薫英女学院高等学校 1年 女子

大阪薫英女学院高等学校 1年 女子

大阪学院大学高等学校 1年 男子

〔ファシリテーター〕

京都女子高等学校 教諭 空閑知子 先生

〔ファシリテーター補助〕

関西中央高等学校 教諭 村上徹 先生

〔書記〕

武庫川女子大学 小幡咲季

【第5班】6人

|                              |   |
|------------------------------|---|
|                              | <p>兵庫県立神戸商業高等学校 3年 女子<br/> 関西中央高等学校 2年 女子<br/> 大阪薫英女学院高等学校 1年 女子<br/> 大阪薫英女学院高等学校 1年 女子<br/> 大阪薫英女学院高等学校 1年 女子<br/> 羽衣学園高等学校 2年 女子<br/> 〔ファシリテーター〕<br/> 柏市教育研究所 佐和伸明 様<br/> 〔書記〕<br/> 常盤会学園大学 西澤優梨香</p> <p>【第6班】5人<br/> 関西中央高等学校 1年 女子<br/> 京都女子高等学校 3年 女子<br/> 兵庫県立神戸商業高等学校 3年 女子<br/> 奈良県立奈良朱雀高等学校 1年 男子<br/> 羽衣学園高等学校 2年 女子<br/> 〔ファシリテーター〕<br/> 大阪学院大学高等学校 教諭 松本宗久 先生<br/> 〔書記〕<br/> 大阪薫英女学院高等学校 教諭 川口範子 先生<br/> プール学院高等学校 教諭 楠浦敦子 先生</p> |
| <p>第1回ネット熟議<br/> スケジュール：</p> | <p>第一回「高校生熟議 in 大阪」(リアル熟議)を受け、下記の予定でネット熟議を開催いたします。</p> <p>第一回 2011年7月17日(日)00:00~2011年8月21日(日)24:00<br/> 熟議テーマ「ネットとケータイの問題点」<br/> 文部科学省 政策創造エンジン 熟議カケアイ (<a href="http://jukugi.mext.go.jp/">http://jukugi.mext.go.jp/</a>)<br/> (ネット熟議に参加するには、サイト上で会員登録が必要です。)</p>   |

### 3. 第一回ネット熟議 開催概要

|                     |   |
|---------------------|---|
| 開催趣旨：               | <p>ケータイ、ネットの課題について、7月16日開催の第一回高校生熟議 in 大阪の議論を踏まえ、リアル熟議より多くの参加者を交えて熟議することにより、課題点をより明らかにさせる。</p> <p>教育政策の形成過程を「見える化」することで、各施策の当事者への浸透度を上げる</p>  |
| 第1回概要：              | <p>熟議テーマ「ネットとケータイの問題点」</p> <p>[熟議コーディネーター]<br/>文科省「熟議」に基づく教育政策形成の在り方に関する懇談会委員 鎌田真樹子<br/>[第一回ネット熟議ファシリテーター]<br/>大阪私学教育情報化研究会 副会長/羽衣学園中高等学校 教諭 米田謙三</p> <p>リアル熟議第一回(ケータイインターネットの問題点)をもとにしたので、その振り返りが多く書き込みに見られた。</p> <p>ケータイについて 人によって違う視点があることがわかった。<br/>ケータイの機能に関して実際多くありすぎるのでは?という書き込みがあった。<br/>スマートフォンの事に関しても書き込みがあった。ナビゲーションやスケジュール管理機能の便利性があげられた。<br/>関西のある学校の制携帯の話があげられた。保護者が通話履歴を見られるかどうかなど具体的なこともあげられた。<br/>東京都の推奨携帯電話のテーマがあげられモラルの重要性もあげられた。</p> <p>熟議における意見<br/>7月16日(土)に開催した、リアル熟議「高校生熟議 in 大阪」の概要「ネットとケータイの問題点」について高校生が6つのグループに分かれ議論し、まとめたものは下記に掲載されています。<br/>〔第一回 高校生熟議 in 大阪〕<a href="http://www.osaka-sigaku.net/ictproject/">http://www.osaka-sigaku.net/ictproject/</a><br/>ネット熟議参加の皆さんには、リアル熟議の高校生の熟議のまとめをベースに、投稿をお願いしました。また、このネット熟議には、リアル熟議に参加した高校生も参加しました。参加高校生への問いかけやご質問、ご意見などもお願いしました。<br/>参考〔各グループの議事録〕<br/><a href="http://www.osaka-sigaku.net/global-image/units/upfiles/328-1-20110718145842.pdf">http://www.osaka-sigaku.net/global-image/units/upfiles/328-1-20110718145842.pdf</a></p> |
| 書き込み：               | 投稿内容については、別紙「熟議録」をご参照ください。  |
| 開催期間：               | 7月17日(日)0:00～8月21日(日)24:00  |
| 参加人数：               | <p>ネット熟議参加者 23人<br/>発言数 83件</p>   |
| 第2回リアル熟議<br>スケジュール： | <p>第一回「高校生熟議 in 大阪」(リアル熟議)及び第一回「ネット熟議」を受け、下記の予定で第二回「高校生熟議 in 大阪」を開催いたします。</p>   |

第二回 2011年8月27日(日) 13:30 ~ 17:00

熟議テーマ「私達にとってのケータイ、インターネットとは」

於：大阪ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行大阪支店)

#### 4. 第二回リアル熟議 ファシリテーター会議 模擬熟議開催概要

|         |   |
|---------|---|
| 模擬熟議概要： | <p>第2回の開催を控え、当日、初めてファシリテーターを務める事業者を対象に、文部科学省「熟議」に基づく教育政策形成の在り方に関する懇談会委員の鎌田真樹子氏を迎えて、ファシリテーター会議を開催。熟議の意味や在り方、ファシリテーターの役割の説明に加え、参加者による模擬熟議を実践し、熟議を体験することにより第2回に備えた。</p> <p>1. 熟議について<br/>熟議について以下の項目について説明を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 熟議とは</li><li>2) リアル熟議とネット熟議</li><li>3) ファシリテーターの役割</li><li>4) メンターの導入とその役割</li></ol> <p>第2回は、より熟議による議論を活性化させることを目的にメンター制を導入することとした。</p> <p>2. 模擬熟議<br/>第2回に予定されている、事業者による講演内容について、『「高校生熟議」に最適な講演テーマの検討』をテーマに第2回のファシリテーターによる模擬熟議を開催した。</p> <p>2グループに分かれ自己紹介の後、ファシリテーターと書記を決め、『「高校生熟議」に最適な講演テーマの検討』をテーマに模擬熟議を開始しました。参加者とも高校生がどんな話に興味を持ち、また熟議を行うのにどんな情報が有用かを忌憚なく意見を出した。</p> <p>3. 発表とテーマ決め<br/>各グループ毎に模擬熟議の内容を発表していきました。</p> <p>1班の発表は、高校生にインターネットの基礎的知識の提供、インターネットで現実に行っていること、今後のインターネットの動向などについて4つのテーマを明示し、事業者が分担するべきだと発表した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・インターネット、スマートフォン、携帯電話の仕組み</li><li>・違法・有害情報監視業務</li><li>・携帯電話からスマートフォンへの移行</li><li>・今後のインターネットの方向性</li></ul> <p>2班は、高校生が何を知りたいかという点について掘り下げ、一つのテーマに絞って、各社が切り口を変えて話をするべきではないか、統一性がなくても高校生は与えられた情報を自己で処理することが可能ではないか、事業者の特徴的なサービスの視点に立って説明するべきではないかと発表した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・スマートフォン戦略</li></ul> |
|---------|---|

|                          |  |
|--------------------------|--|
|                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際戦略</li> <li>・ 監視業務</li> <li>・ ゲーム戦略</li> </ul> <p>以上を踏まえ、両社に本質的な違いがないことから、1 班の趣旨に沿って、各社がどのテーマを担当するかを決めた上で、具体的なタイトルについては、後日連絡することを確認して終了した。</p> <p>模擬熟議を体験することにより、参加者からは、これまでの会議と異なり、立場などにとらわれず自由に気軽に意見を発することができ、活発な議論ができた。それだけにファシリテーターの役割の重要性を確認できた。今後もこの手法は、社内外でも導入したい、など意見が出た。</p> <p>4 . ネット熟議への参加</p> <p>最後に現在開催中の第一回ネット熟議への参加と、8 月 28 日より開催の第二回ネット熟議での積極的な関わりを要請した。</p> |
| <p>「模擬熟議」<br/>参加事業者：</p> | <p>株式会社ディー・エヌ・エー<br/>グリー株式会社<br/>株式会社ガイアックス<br/>NHN Japan 株式会社<br/>株式会社インテグラル<br/>株式会社モバイルスタッフ<br/>一般社団法人 情報教育研究所<br/>安心ネットづくり促進協議会 他</p>  |
| <p>日 時：</p>              | <p>2011 年 8 月 18 日 ( 土 ) 10:00-12:30</p>   |
| <p>場 所：</p>              | <p>一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 会議室<br/>東京都港区西麻布 1-4-38 千歳ビル 3 階</p>   |
| <p>参加人数：</p>             | <p>模擬熟議参加者 14 人</p>  |
| <p>熟議グループ：</p>           | <p>【第 1 班】 7 人<br/>株式会社インテグラル 吉井美華<br/>NHN Japan 株式会社 高橋 誠<br/>文科省「熟議」に基づく教育政策形成の在り方に関する懇談会委員 鎌田真樹子<br/>目白大学社会学部メディア表現学科 町田沙奈美<br/>グリー株式会社 阿久津伴寛<br/>グリー株式会社 小木曾健<br/>株式会社ディー・エヌ・エー 大道あゆみ</p> <p>〔ファシリテーター〕<br/>グリー株式会社 小木曾健</p> <p>〔書記〕<br/>株式会社ディー・エヌ・エー 大道あゆみ</p>   |

【第2班】7人

株式会社モバイルスタッフ 北口博一

株式会社ディー・エヌ・エー 奥田麻依子

グリー株式会社 原田聖子

ネット教育アナリスト 尾花紀子

安心ネットづくり促進協議会 事務局 石原友信

株式会社ガイアックス 平田夏鈴

一般社団法人 情報教育研究所 永坂武城

〔ファシリテーター〕

株式会社ガイアックス 平田夏鈴

〔書記〕

株式会社ガイアックス 平田夏鈴

## 5. 第二回リアル熟議 開催概要

|               |  |
|---------------|--|
| <p>第2回概要：</p> | <p>第2回は高校生、教員、企業関係者など約80人以上の参加者を得て、「私たちにとってケータイ、インターネットとは」をテーマに高校生と教員、企業がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>開会の挨拶 文部科学省 生涯学習政策局 政策課 林大介様</p> <p><b>【第1部】</b></p> <p>米田教諭（羽衣学園高校）の「これまでの第一回やネット熟議」の報告に始まり、続いて参加企業さんからのプレゼンが実施されました。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 今必要とされるネットリテラシーとは 株式会社 ガイアックス</li><li>2) サイト健全化維持の取り組み 株式会社ディー・エヌ・エー</li><li>3) スマートフォンから始まる未来 グリー株式会社</li><li>4) 今後のインターネットの方向性 NHN Japan 株式会社</li></ol> <p><b>【第2部】</b></p> <p>『熟議』</p> <p>最初に米田先生によるアイスブレイクの意味も入った「BITS PUZZLE」と呼ばれるパズル。iPod や iPad を交互に使用して論理的思考力を体験した後、自己紹介をし、打ち解けた雰囲気となりました。</p> <p>グループに分かれ企業の方がファシリテーターとなって、高校生熟議を開始しました。</p> <p>高校生たちは付箋紙に私達にとってのケータイ、インターネットの考えや思いをメモし、意見を出し合っています。歓声上がるほど活発な意見交換が、ブログや掲示板、ツイッター、出会い系サイトなどについて出されました。</p> <p>自分たちのケータイへの依存の高さも振り返っていました。鎌田氏の全体のファシリテートの中、各班で付箋紙を模造紙に貼り付けていく中で意見を整理分類して、各グループでまとめて行きました。</p> <p>詳細は、別紙「熟議録」をご覧ください。</p> <p>ファシリテーター 敬称略<br/>株式会社インテグラル 吉井美華<br/>グリー株式会社 阿久澤伴寛<br/>グリー株式会社 原田聖子<br/>株式会社モバイルスタッフ 北口博一<br/>株式会社ディー・エヌ・エー 奥田麻依子</p> |
|---------------|--|

|                 |  |
|-----------------|--|
|                 | <p>一般社団法人 情報教育研究所 永坂武城<br/> NHN Japan 株式会社 高橋 誠<br/> 株式会社ディー・エヌ・エー 大道あゆみ<br/> グリー株式会社 小木曾健<br/> 目白大学社会学部メディア表現学科 町田沙奈美<br/> 株式会社ガイアックス 平田夏鈴<br/> 株式会社ディー・エヌ・エー 中川真理子</p> <p>【第3部】<br/> グループごとにまとめた内容を発表していきました。各班2部の内容をうまく模造紙に まとめての発表でした。<br/> 発表終了後、今回メンターとなった皆さんからコメントをいただきました。</p> <p>敬称略<br/> 文部科学省 生涯学習政策局 政策課 林 大介<br/> 熊本県熊本市立河内中学校 教頭 桑崎 剛<br/> 文部科学省 スポーツ・青少年局 青少年課 関根 章文<br/> ネット教育アナリスト 尾花 紀子<br/> 総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 消費者行政課 松井 正幸<br/> 柏市教育委員会 柏市立教育研究所 指導主事 佐和伸明</p> <p>最後に羽衣学園高校米田先生より熟議カケアイのサイトで引き続きオンライン上の議論をすることが呼びかけられました。<br/> 次回の11月3日まで2回のネット熟議が開催されるので、オンライン上でも自分の意見を的確に主張してほしいと高校生に求めました。</p> |
| 「リアル熟議」<br>参加校： | 〔大阪府〕羽衣学園高等学校、大阪学院大学高等学校、大阪成蹊女子高等学校<br>〔京都府〕京都女子高等学校<br>〔兵庫県〕兵庫県立神戸商業高等学校<br>〔奈良県〕関西中央高等学校 奈良県立奈良朱雀高等学校  |
| 日 時：            | 2011年8月27日(土) 13:30-17:00  |
| 場 所：            | 大阪ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行大阪支店)<br>大阪市中央区和泉町2-2-2<br>アクセス 地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目駅」8番出口より徒歩8分   |
| 参加人数：           | 熟議参加生徒 28人<br>見学者 65人(教員・教育関係者25人 その他40人)<br>合計：93人  |
| 熟議グループ：         | 熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。<br>【第1班】5人<br>兵庫県立神戸商業高等学校 3年 女子<br>羽衣学園高等学校 2年 女子   |

奈良県立奈良朱雀高等学校 1年 男子  
大阪学院大学高等学校 1年 男子  
京都女子高等学校 3年 女子  
〔ファシリテーター〕  
株式会社インテグラル 吉井美華  
グリー株式会社 阿久津伴寛  
〔ファシリテーター補助〕  
聖母被昇天学院中学校高等学校 岡本 弘之  
〔書記〕  
大阪電気通信大学 當山達也

【第2班】5人

兵庫県立神戸商業高等学校 3年 女子  
京都女子高等学校 3年 女子  
羽衣学園高等学校 2年 女子  
大阪学院大学高等学校 1年 男子  
奈良県立奈良朱雀高等学校 1年 男子  
〔ファシリテーター〕  
株式会社モバイルスタッフ 北口博一  
グリー株式会社 原田聖子  
〔書記〕  
宝塚大学 中川芳剛

【第3班】5人

羽衣学園高等学校 2年 女子  
奈良県立奈良朱雀高等学校 3年 男子  
京都女子高等学校 3年 女子  
大阪学院大学高等学校 3年 女子  
兵庫県立神戸商業高等学校 3年 女子  
〔ファシリテーター〕  
株式会社ディー・エヌ・エー 奥田麻依子  
一般社団法人 情報教育研究所 永坂武城  
〔ファシリテーター補助〕  
大阪府立春日丘高等学校 吉村剛志  
〔書記〕  
滋賀大学 大学院教育学研究科 横山成彦

【第4班】5人

関西中央高等学校 2年 男子  
奈良県立奈良朱雀高等学校 3年 男子  
羽衣学園高等学校 3年 女子

|  |   |
|--|---|
|  | <p>大阪成蹊女子高等学校 1年 女子<br/> 兵庫県立神戸商業高等学校 3年 女子<br/> 〔ファシリテーター〕<br/> 株式会社ディー・エヌ・エー 大道あゆみ<br/> NHN Japan 株式会社 高橋誠<br/> 〔書記〕<br/> 羽衣学園高等学校 福岡奈絵</p> <p>【第5班】4人<br/> 大阪成蹊女子高等学校 1年 女子<br/> 羽衣学園高等学校 2年 女子<br/> 関西中央高等学校 2年 男子<br/> 兵庫県立神戸商業高等学校 3年<br/> 〔ファシリテーター〕<br/> グリー株式会社 小木曾健<br/> 目白大学社会学部メディア表現学科 町田沙奈美<br/> 〔書記〕<br/> 常盤会学園大学 西澤優梨香</p> <p>【第6班】4人<br/> 兵庫県立神戸商業高等学校 3年 女子<br/> 羽衣学園高等学校 2年 女子<br/> 大阪成蹊女子高等学校 1年 女子<br/> 関西中央高等学校 2年 女子<br/> 〔ファシリテーター〕<br/> 株式会社ディー・エヌ・エー 中川真理子<br/> 株式会社ガイアックス 平田夏鈴<br/> 〔書記〕<br/> 関西中央高等学校 村上徹</p> |
| <p>第2回・第3回<br/> ネット熟議<br/> スケジュール：</p> | <p>第二回「高校生熟議 in 大阪」（リアル熟議）を受け、下記の予定でネット熟議を開催いたします。</p> <p>第二回 2011年8月28日（日）00:00～2011年9月25日（日）24:00<br/> 熟議テーマ「高校生にとってのケータイ、インターネットとは」</p> <p>第三回 2011年9月26日（日）00:00～2011年10月23日（日）24:00<br/> 熟議テーマ「これからのネットとケータイを考える」</p> <p>文部科学省 政策創造エンジン 熟議カケアイ (<a href="http://jukugi.mext.go.jp/">http://jukugi.mext.go.jp/</a>)<br/> （ネット熟議に参加するには、サイト上で会員登録が必要です。）</p>   |

## 6. 第二回ネット熟議 開催概要

|        |  |
|--------|--|
| 開催趣旨：  | <p>ケータイ、ネットの課題について、これまでに開催されたの第一回及び第二回の「高校生熟議 in 大阪」及び第一回のネット熟議の議論を踏まえ、リアル熟議より多くの参加者と高校生以外も交えて熟議することにより、課題点をより明らかにさせる。</p> <p>教育政策の形成過程を「見える化」することで、各施策の当事者への浸透度を上げる</p>   |
| 第2回概要： | <p>熟議テーマ「高校生にとってのケータイ、インターネットとは」</p> <p>[熟議コーディネーター]<br/>文科省「熟議」に基づく教育政策形成の在り方に関する懇談会委員 鎌田真樹子<br/>[第二回ネット熟議ファシリテーター]<br/>大阪私学教育情報化研究会 副会長/羽衣学園中高等学校 教諭 米田謙三<br/>奈良県立奈良朱雀高等学校 教諭 大橋 篤</p> <p>第二回目のリアル熟議の感想として、前回より発言ができたというコメントが多かった。二回目で 企業の方とも交流できて熟議の面白さを体験したからではないかということがコメントからも読み取れる。また、少し慣れてきたということも一因であるということがわかる。</p> <p>リアル熟議第二回（ケータイ・ネットの在り方&amp;活用法）をふまえた書き込みが多く見られた。</p> <p>1) 国際的にコミュニケーションを広げるという使い方で世界を一つにしようというリアル熟議の考え方を更に深める意見が出た。<br/>2) SNS、Facebook の話題がたくさん出た。特に Facebook の紹介、グループも別途たちあがりそこでも議論されたようだ。<br/>3) ネット依存の問題が提起され実際に高校生にネットは早いのか、必要なのかという議論がもちあがった。意見として早い段階からのネット利用に賛成のコメントが多かった。<br/>4) これからの社会を考えたり、調べ学習などで効果があり、ネットは不可欠というコメントが多数あり、その後ただ規制ということにも話が進んだ。<br/>5) 何が効果のある対処法なのか？というテーマになり、ネットの正しい利用方法や、どんな行為はルール違反なのか、ということをおとながきちんと子どもに教えることなのではないかなどというコメントがあげられた。<br/>6) 高校生のネット利用に関する資料やモラルに関する資料などがあげられた。<br/>7) モラルの低下が話題になり、モラルの向上に対しては、教育の必要性があげられた。<br/>8) ネットの正しい使い方、判断は、やはり学校や家庭できちんと学ぶ必要があるというコメントが目立った。<br/>9) ただし、最後の方で 「人への思いやり」ということが取り上げられた。ネットは人とのつながりを円滑にする、そして心を豊かにする道具として使いたいと思いま</p> |

|                            |  |
|----------------------------|--|
|                            | <p>す。「人を思いやる」気持ちをもって。</p> <p>この最後のところから最終の第3回につなげていくことになった。</p> <p>その他 このサイトのシステムにも提案がされた。書き込み方のサイトを作成した高校生もでてきた。</p> <p>熟議における意見</p> <p>8月27日(土)に開催した、リアル熟議「高校生熟議 in 大阪」の概要第2回は高校生、教員、企業関係者など約100人近くの参加者を得て、「私たちにとってケータイ、インターネットとは」をテーマに高校生と教員、企業がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>〔第二回「高校生熟議 in 大阪」〕<br/> <a href="http://www.osaka-sigaku.net/ictproject/">http://www.osaka-sigaku.net/ictproject/</a></p> <p>ネット熟議参加の皆さんには、リアル熟議の高校生の熟議のまとめをベースに、投稿をお願いしました。また、このネット熟議には、リアル熟議に参加した高校生や企業の方、教員も参加しました。参加高校生への問いかけやご質問、ご意見などもお願いしました。</p> <p>参考〔各グループの議事録〕<br/> ICTプロジェクト第二回「高校生熟議 in 大阪」レポート<br/> <a href="http://www.osaka-sigaku.net/ictproject/20110827report.html">http://www.osaka-sigaku.net/ictproject/20110827report.html</a></p> |
| 書き込み：                      | 投稿内容については、別紙「熟議録」をご参照ください。   |
| 開催期間：                      | 8月28日(日)0:00～9月25日(日)24:00   |
| 参加人数：                      | ネット熟議参加者 20人<br>発言数 69件  |
| 第3回ネット熟議及びリアル熟議<br>スケジュール： | <p>第一回、第二回の「高校生熟議 in 大阪」(リアル熟議)及び第一回「ネット熟議」を受け、下記の予定で第三回「ネット熟議」及び第三回「高校生熟議 in 大阪」を開催いたします。</p> <p>第三回ネット熟議<br/> 熟議テーマ「これからのネットとケータイを考える」<br/> 2011年9月26日(日)00:00～2011年10月23日(日)24:00<br/> 第三回「高校生熟議 in 大阪」 2011年11月03日(日)(予定)11:00-16:30<br/> 熟議テーマ「これからのネットとケータイを考える」<br/> 於：大阪ユビキタス協創広場 CANVAS(内田洋行大阪支店)</p>   |

## 7. 第三回ネット熟議 開催概要

|               |   |
|---------------|---|
| <p>開催趣旨：</p>  | <p>ケータイ、ネットの課題について、これまでに開催されたの第一回及び第二回の「高校生熟議 in 大阪」及び第一回、第二回のネット熟議の議論を踏まえ、リアル熟議より多くの参加者と高校生以外も交えて熟議することにより、課題点をより明らかにさせる。</p> <p>教育政策の形成過程を「見える化」することで、各施策の当事者への浸透度を上げる</p>  |
| <p>第3回概要：</p> | <p>熟議テーマ「これからのネットとケータイを考える」</p> <p>[熟議コーディネーター]<br/>文科省「熟議」に基づく教育政策形成の在り方に関する懇談会委員 鎌田真樹子</p> <p>[第二回ネット熟議ファシリテーター]<br/>大阪私学教育情報化研究会 副会長/羽衣学園中高等学校 教諭 米田謙三<br/>奈良県立奈良朱雀高等学校 教諭 大橋 篤</p> <p>第三回ネット熟議への対応について</p> <p>7月から始まったICTプロジェクト「高校生熟議 in 大阪」は、高校生の闊達な議論、ファシリテーターや書記の方々のご尽力で、成果のあるものになりつつあります。この取組は、今年度の情報化月間関連事業としてされ、行政関係者からも高い注目を浴びております。リアル熟議と並行して開催しているネット熟議でも、ネット熟議のコーディネーター及びファシリテーターにて、最後のネット熟議を迎えて、さらに高校生が堂々とネット上でも自分達の意見を投稿できる環境を整備する方法について議論いたしました。その主な要点は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ネット上で意見を述べることに躊躇する傾向があるため、なるべく投稿しやすいように簡単な質問の投げかけから始める。</li> <li>2) ネット熟議は基本的にPCからしか投稿できないため、PCを自由に使える環境にない生徒には、校内でその機会を与える必要がある。</li> <li>3) 秋は学校行事も多く、授業として長く時間をとることが難しい。そのため一定の期間に集中的に投稿を行い、それにより活性化を促すために、各校の教員が協力する必要がある。</li> <li>4) 最終的には、ネットの有害性や規制といった論点ではなく、生徒が将来、夢をもってネットを活用したり、ネットを自己の目標達成の手段としたり、国際的な活動に通じるような議論を促したい。</li> <li>5) 生徒達が投稿しやすく、目先の問題だけにとらわれず大きな視点で議論をさせるように促すためには、議論全体のストーリーをある程度事前に教員が共有しておく必要がある。</li> </ol> <p>以上のような論点を踏まえて、概略のストーリーを以下のように設定いたしました。</p> |

[第1のテーマ]

「高校生にとってフィルタリングは必要か？不要か？」

(ポイント)

ネット上での発言にはある程度勇気が必要で、教員に促されて投稿しても、感想レベル出終わってしまうことが多い。自己の意見を最低限、意思表示できるように最初は投稿を高校生限定とし、Yes or No で回答できる問いかけとした。この問いに対して、各校では少なくとも熟議参加生徒に Yes か No の投稿だけでも行って頂きたい。また、一斉に各校が同時期に投稿することで、生徒の投稿時の不安感を抑制することができる、

[第2のテーマ]

「フィルタリングはなぜ必要か？なぜ不要か？」

(ポイント)

第1のテーマで Yes もしくは No と回答しているので、一歩進めてその理由を問いたいと思います。この理由を問うことで、生徒には単純な二者択一の投稿から、自由文の投稿を促したいと思います。また、このテーマから大人の参加者の投稿も受け、少し刺激を与えてみたいと思っております。

[第3のテーマ]

「自分のこれからの将来にネットはどんな意味を持つのか？」

(ポイント)

それぞれの工夫の中で、ネットとの付き合いをしていくことになると思うが、自身の中である種の制限や使い方、付き合い方などをイメージしながら、自分の将来設計やライフスタイルにネットがどんな位置を占めるようになるのかを考え、発言してもらいたいと思います。また、このテーマは、第3回の「高校生熟議 in 大阪」のテーマ「これからのネットとケータイを考える」に繋げていきたいと思います。自分の将来におけるネットをイメージすることで、社会全体におけるネットやケータイの在り方を第3回の熟議では考えてもらいたいと思います。

まとめ

フィルタリングを中心に議論を行いました、本当に様々な意見が出ました。

【主な意見(コメントより抜粋)】

- ・フィルタリングはPC ウィルスやブラクラに引っかからないためにも一役買っている。
- ・有害サイトだけ完全にフィルタリングできればパーフェクトに便利
- ・あいまいな基準で規制されているので、もっと明確にラインを引くべき。
- ・自分で経験して(頭を打って)、ネット上の情報を必要なもの、不必要なものに振り分ける。
- ・フィルタリングがあると、必要な情報を探せない。
- ・ある程度のネットへの耐性を持つておくべき
- ・擬似的(悪質なサイト)なサイトでの体験学習。

|                            |  |
|----------------------------|--|
|                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィルタリングがないと危ない。</li> <li>・フィルタリングは完璧ではない</li> <li>・フィルタリングを一概に必要不要を分けることは難しい</li> <li>・学校できちんとした教育をしてほしい。今の教育では不十分。</li> <li>・周りの大人からの情報を鵜呑みにせずに、行動力のある大人へと成長せねば！！</li> </ul> <p>賛成も反対もそれ以外も多くのコメントや意見を見て書き込んでいました。<br/>また途中でそのコメントを見て 自分の意見がかわったという人も出て来ました。</p> <p>今回のネット熟議で頻繁、「自己責任」や「自己判断」という言葉が多く使われました。もう高校生なのだから<br/>自分で考えて、また自分の考えを持っていることが重要と多くのコメントがありました。</p> <p>自分の考えを主張し人に伝えて・・・自分の夢や、希望を実現していくことにより、ネット社会だけでなく、リアルな社会も良くなるというコメントもありました。</p> <p>すなわち、私たちの未来は私たちで切り開いていきましょう！！ ネット上のモラルの問題は、私達が【何か】をすれば変わるかもしれない。無論大きな変化は起こせなくても、少しずつは変えていけるという声が多かった。</p> <p>これからのネットライフを続きは11月3日のリアル熟議で実施してもらいます。</p> |
| 書き込み：                      | 投稿内容については、別紙「熟議録」をご参照ください。   |
| 開催期間：                      | 9月26日(日)0:00～10月26日(水)24:00  |
| 参加人数：                      | ネット熟議参加者 54人<br>発言数 319件   |
| 第3回ネット熟議及びリアル熟議<br>スケジュール： | <p>第一回、第二回の「高校生熟議 in 大阪」(リアル熟議)及び第一回、第二回の「ネット熟議」を受け、下記の予定で第三回「高校生熟議 in 大阪」を開催いたします。</p> <p>第三回「高校生熟議 in 大阪」 2011年11月03日(日)(予定)11:00-16:30<br/>熟議テーマ「これからのネットとケータイを考える」<br/>於：大阪コピキタス協創広場 CANVAS(内田洋行大阪支店)</p>  |

## 8. 第三回リアル熟議 開催概要

|               |   |
|---------------|---|
| <p>第3回概要：</p> | <p>第3回の最終回は高校生、教員、企業関係者など約82名の参加者を得て、「これからのネットとケータイを考える」をテーマに高校生と教員、が6つのグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>開会の挨拶<br/>総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 消費者行政課課長 玉田 康人様</p> <p>携帯電話やインターネットを青少年が安全に使用するにはどうしたらいいかという環境整備に関する問題に取り組んでいる。リテラシーなどに取り組んでいる。フィルタリングをすすめていたりしている。この中でも、スマートフォンを使用している方はどれぐらいしているか？スマートフォンと今までの携帯の違いは？アプリケーションを使用できる。<br/>実はアプリケーションをいつどのように使っているかという履歴が知られてしまう場合もある。このようなことも知識として知っていてほしい。<br/>何をしていけばいいかみんなで考えていきたいと思います。</p> <p>【第1部】<br/>アイスブレイクとして絵本を見ました。ただし、字のない絵本でした。<br/>心を落ち着けていよいよ第3回がスタートしました。<br/>米田教諭（羽衣学園高校）の「これまでのリアル熟議やネット熟議」の報告に始まり、続いて本日の課題が発表されました。</p> <p>「これからのネットとケータイを考える」<br/>このテーマは、ネットやケータイの未来像を考えるだけでなく、高校生の皆さんが将来どんな夢を持ち、それを実現していくかという視点で考えてください。もちろん一人一人の夢や将来像が違って構いません。その中で、どんな社会や環境を創っていききたいのか？創るのは皆さんの周りの保護者や先生たちではありません。これからの社会を担う皆さんです。次の世代を担う皆さん、自らどんな社会で、その中でどんな将来を描いていくか、夢一杯に熟議してください。</p> <p>&lt;プレゼンテーションにむけて&gt;<br/>熟議の最後に各グループからプレゼンテーションしていただきます。これまでの熟議のように模造紙での発表ではなく、パワーポイントにまとめて、それを使って発表をお願いします。パワーポイントは、今回のテーマに沿ってテンプレートが用意されています。プレゼンテーションの内容と一緒に、どんなプレゼン資料にすればいいかも話し合ってください。テンプレートの解説をします。</p> <p>1) これまでのリアル熟議やネット熟議の中で議論した、ネットの光の部分について、整理してまとめましょう。どんないい点があり、どう活用しているか。自分たちにとって、現在どんな位置付けなのかなど、積極的に伝えてください。</p> |
|---------------|---|

|                         |  |
|-------------------------|--|
|                         | <p>2) これまでのリアル熟議やネット熟議の中で議論した、ネットの陰の部分について、整理してまとめましょう。どんなリスクがあり、それに対して自分たちは日頃、どう対応しているか。フィルタリングだけでなく、時間の使い方や、迷惑メール、友だちとのトラブルなど様々なことがあると思います。議論した内容を整理しながら、伝えてください。</p> <p>3) 将来の社会像、環境、自分たちの夢など、今回の熟議の結論を発表する頁です。</p> <p><b>【昼食】</b><br/> <b>【第2部】</b><br/>     最初に絵本「ともだち」の読み聞かせを体験。ともだちをテーマにした素晴らしい絵本とまた素晴らしい読み手にしっとりとした雰囲気になりました。<br/>     その後、熟議およびプレゼンテーションを作成しました。</p> <p>詳細は、別紙「熟議録」をご覧ください。</p> <p><b>【第3部】</b><br/>     グループごとにまとめた内容を発表していきました。全ての班が短い時間の中で内容をうまくまとめた発表でした。なお、司会進行も高校生が実施しました。途中質疑応答もあり大変盛り上がりました。発表終了後、熊本県熊本市立河内中学校 教頭 桑崎 剛先生から講評をいただきました。</p> <p>最後に全体で集合写真をとりました。<br/>     閉会の挨拶を大阪私学教育情報化研究会 副会長 四条暁学園高校 教諭 飯田先生にお願いしました。</p> |
| <p>「リアル熟議」<br/>参加校：</p> | <p>〔大阪府〕羽衣学園高等学校、大阪学院大学高等学校、大阪成蹊女子高等学校、大阪学芸中等教育学校、大阪市立扇町総合高等学校<br/>         〔京都府〕京都女子高等学校<br/>         〔奈良県〕関西中央高等学校 奈良県立奈良朱雀高等学校</p>  |
| <p>日 時：</p>             | <p>2011年11月3日(木) 11:00-16:30</p>   |
| <p>場 所：</p>             | <p>大阪ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行大阪支店)<br/>         大阪市中央区和泉町 2-2-2<br/>         アクセス 地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目駅」8番出口より徒歩8分</p>   |
| <p>参加人数：</p>            | <p>熟議参加生徒 29人<br/>         見学者 53人(教員・教育関係者28人 その他25人)<br/>         合計：82人</p>   |
| <p>熟議グループ：</p>          | <p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。</p> <p><b>【第1班】5人</b><br/>         大阪学院大学高等学校 1年 男子<br/>         羽衣学園高等学校 2年 女子<br/>         大阪成蹊女子高等学校 1年 女子</p>   |

奈良県立奈良朱雀高等学校 3年 男子  
関西中央高等学校 2年 男子  
〔ファシリテーター〕  
大阪府立春日丘高等学校 教諭 吉村 剛志  
〔書記〕  
大阪電気通信大学 當山達也

【第2班】5人

羽衣学園高等学校 2年 女子  
大阪市立扇町総合高等学校 3年 女子  
京都女子高等学校 3年 女子  
奈良県立奈良朱雀高等学校 3年 男子  
大阪学芸中等教育学校 6(3)年 男子  
〔ファシリテーター〕  
大阪府立布施高等学校 教諭 竹内 健二  
〔書記〕  
武庫川女子大学 小幡 咲季

【第3班】5人

羽衣学園高等学校 2年 女子  
羽衣学園高等学校 3年 女子  
奈良県立奈良朱雀高等学校 1年 男子  
大阪市立扇町総合高等学校 3年 男子  
京都女子高等学校 3年 女子  
〔ファシリテーター〕  
関西中央高等学校 教諭 村上 徹  
〔書記〕  
滋賀大学 大学院教育学研究科 横山成彦

【第4班】5人

大阪市立扇町総合高等学校 3年 男子  
奈良県立奈良朱雀高等学校 1年 男子  
京都女子高等学校 3年 女子  
羽衣学園高等学校 2年 女子  
羽衣学園高等学校 2年 女子  
〔ファシリテーター〕  
大阪学院大学高等学校 教諭 松本 宗久  
〔ファシリテーター補助〕  
一般社団法人情報教育研究所 永坂 武城  
〔書記〕  
宝塚大学 中川 芳剛

【第5班】5人

大阪成蹊女子高等学校 1年 女子  
関西中央高等学校 2年 男子  
大阪市立扇町総合高等学校 3年 男子  
羽衣学園高等学校 2年 女子  
羽衣学園高等学校 2年 女子  
〔ファシリテーター〕  
京都女子高等学校 教諭 平田 義隆  
〔書記〕  
常盤会学園大学 西澤優梨香

【第6班】4人

大阪学院大学高等学校 1年 男子  
羽衣学園高等学校 2年 女子  
大阪成蹊女子高等学校 1年 女子  
関西中央高等学校 1年 女子  
〔ファシリテーター〕  
聖母被昇天学院中学校高等学校 教諭 岡本 弘之  
〔書記〕  
プール学院高校 教諭 楠浦 敦子

## 9. 高校生熟議 in 大阪 最終報告会 開催概要

|        |  |
|--------|--|
| 報告会概要： | <p>4ヶ月に亘る、3回のリアル熟議と3回のネット熟議について、最終報告会として、熟議参加の高校生から代表者2名が、総務省及び文部科学省に熟議で得られ成果を提言としてプレゼンテーションを行った。</p> <p>最終報告としては、主に以下の点を成果として発表した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・小学生の段階からモラルや情報の取扱いに関する教育を実施することにより、高校生の段階では、自己判断能力を身に付け、より良くネットやケータイを利活用することができる。</li><li>・高校生がネットやケータイをどのように実際に利活用しているかを、おとなももっと正しく理解してほしい。利用時間が長いことや、利用する頻度が高いからと言って一概に依存や危険だと判断しないで欲しい。</li><li>・高校生では、情報リテラシーに比べ、社会的なモラルは大人よりも劣るため、大人ももっと情報についての理解を進めるとともに、社会的なモラルを提供し、相互によりよいネットやケータイの環境づくりに取組んでいくべき。</li></ul> <p>また最後に自分達ができることとして以下の点を挙げた。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・トラブルに巻き込まれた友達にアドバイスする</li><li>・自分から、ネットについて調べ、考える</li><li>・自分の持っている知識を周りに伝える</li><li>・それは、友達だけでなく兄弟や周りの大人にも！！</li></ul> <p><b>【総務省】</b></p> <p>総務省では、上記提言に対し、主に以下のような質疑等があった。</p> <p>(総務省) 情報に関する知識と判断力は異なるとのことだが、どうすれば判断力がつくと思うか。</p> <p>(高校生) 情報モラルの試験の実施や、詐欺等を仮想体験できるサイトの利用</p> <p>(総務省) 大人にはどのように伝えていけばいいと思うか</p> <p>(高校生) 自分達の利用の状況を親に伝えること。失敗事例も隠さず親に伝えることで情報の共有化ができる。</p> <p>(総務省) ネットで知り合った人と親近感がわいて、会おうとすることはあるか</p> <p>(高校生) 逆にリアルで知り合った人と、一期一会にならないようにネットで交流をすることの方が多く、それにより知的な面や趣味の面でも継続的な人脈を拓けることができる。</p> <p><b>【文部科学省】</b></p> <p>文部科学省では、上記提言に対し、城井政務官より以下のようなご意見をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ネットの時間はある意味でリアルな生活時間を浸食してはいないだろうか。</li><li>・匿名制と実名制の関係はどう考えるか。距離感や自由度にも関係があると思うが</li><li>・ネットに関するリテラシー教育はどの年代から、何を教えていけばいいと思うか。</li><li>・リアルのモラルとネットのモラルに関する提言は良く理解できる。</li></ul> |
|--------|--|

|        |   |
|--------|---|
|        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット上の出会いの場は、再開の場ともなり得ると思う。</li> <li>・教育の充実について、より具体的に考えを教えて欲しい。</li> <li>・ネット上の情報の真偽をどう判断すべきか？</li> </ul> <p>これに対して、高校生からは以下のような答えがされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケータイの使い方などは、兄弟から教わることもある。そうした関係の中でも伝え合っていけばいいと思う。</li> <li>・軽微な問題は、多少、何度か失敗の経験も必要なことだと思う。</li> <li>・親子で教え会える関係ができることがいい。</li> <li>・情報の関係は進歩が早く教材などが追いつかないので、時代にあった対応をしてほしい。</li> <li>・匿名制と実名制は使い分けている。心の中を吐露できるものと表面的な表現に留めるものとの違いがある。</li> <li>・小学生のうちは、どんな言葉が相手にとって深いかなどについて教えてあげる必要があると思う。</li> </ul> <p>また、熟議について、高校生から以下のような感想があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熟議カケアイのサイトはケータイ対応してほしい。高校生は、ネットはケータイからのアクセス主流なので。</li> <li>・ファシリテーターや投稿者にもう少し権限が欲しい。自分の意見の修正や削除ができないのはおかしい。</li> </ul> |
| 最終報告者： | 奈良県立奈良朱雀高等学校 3年 金子真志<br>羽衣学園高等学校 2年 松村紗希  |
| 報告対象：  | [総務省]<br>総合通信基盤局 電気通信事業部 電気通信事業部長 原口 亮介様<br>[文部科学省]<br>文部科学大臣 政務官 城井 崇(きい たかし)様   |
| 日時：    | 2011年11月17日(木)<br>[総務省]15:30～16:15<br>[文部科学省]16:50～17:20  |
| 場所：    | [総務省]会議室 601<br>[文部科学省]会議室 901  |

## 10. 開催プログラム

リアル熟議 第一回 2011年7月16日(土) 13:30-17:00

於:大阪ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行大阪支店)

熟議テーマ「ネットとケータイの問題点」

|               |   |
|---------------|---|
| 13:00 ~       | 開場、受付開始   |
| 13:30 ~ 13:50 | 開会の挨拶・講演<br>「インターネットと違法・有害情報への政府の取組」<br>総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 消費者行政課<br>課長補佐 中村 朋浩 様                          |
| 13:50 ~ 14:20 | 第一部:アイスブレイク<br>「論理的思考力を鍛えるアイスブレイク」<br>羽衣学園中高等学校 教諭 米田 謙三 先生   |
| 14:20 ~ 14:30 | 休憩  |
| 14:30 ~ 14:45 | 第二部:熟議<br>[熟議イントロダクション] 『熟議とは』<br>文部科学省「熟議」に基づく教育政策形成の在り方に関する<br>懇談会委員<br>違法有害情報相談センター 実務アドバイザー<br>鎌田 真樹子 様 |
| 14:45 ~ 14:50 | グループ分け 移動   |
| 14:50 ~ 16:30 | [高校生熟議] (ケータイ ネットの問題点)<br>熟議ファシリテーター、補助、書記:<br>(大阪私学教育情報化研究会 所属教員、大学生)                                      |
| 16:30 ~ 16:45 | 第三部:グループ発表<br>(1) グループ発表  |
| 16:45 ~ 16:55 | (2) 次回までの予定<br>ネット熟議「熟議カケアイ」について  |
| 16:55 ~ 17:00 | 質疑応答  |

ネット熟議 第一回

2011年7月17日(日) 00:00 ~ 2011年8月21日(日) 24:00

熟議テーマ「ネットとケータイの問題点」

文部科学省 政策創造エンジン 熟議カケアイ

<http://jukugi.mext.go.jp/>

(ネット熟議に参加するには、サイト上で会員登録が必要です。)

リアル熟議 第二回 2011年8月27日(土)13:30-17:00

於:大阪コピキタス協創広場 CANVAS (内田洋行大阪支店)

熟議テーマ「私達にとってのケータイ、インターネットとは」

|               |   |
|---------------|---|
| 13:00 ~       | 開場、受付開始   |
| 13:30 ~ 13:35 | 開会の挨拶<br>文部科学省 生涯学習政策局 政策課 林 大介 様   |
| 13:35 ~ 13:50 | 第一部: ネット熟議の状況、まとめ報告   |
| 13:50 ~ 14:00 | 「今必要とされるネットリテラシーとは」<br>株式会社ガイアックス   |
| 14:00 ~ 14:10 | 「サイト健全化維持の取り組み」<br>株式会社ディー・エヌ・エー  |
| 14:10 ~ 14:20 | 「スマートフォンから始まる未来」<br>グリー株式会社   |
| 14:20 ~ 14:30 | 「今後のインターネットの方向性」<br>NHN Japan 株式会社  |
| 14:30 ~ 14:40 | 「アイスブレイク」<br>羽衣学園中高等学校 教諭 米田 謙三 先生  |
| 14:40 ~ 14:50 | 休憩  |
| 14:50 ~ 16:30 | 第二部: 熟議<br>[高校生熟議] (私達にとってのケータイ・インターネットとは)<br>熟議ファシリテーター、補助、書記、メンター:<br>(コミュニティサイト運営事業者、監視事業者等、大学生) |
| 16:30 ~ 16:45 | 第三部: グループ発表<br>(3) グループ発表   |
| 16:45 ~ 16:55 | (4) 次回までの予定 注意事項<br>ネット熟議「熟議カケアイ」について   |
| 16:55 ~ 17:00 | 質疑応答  |

ネット熟議 第二回

2011年8月28日(日)00:00 ~ 2011年9月25日(日)24:00

熟議テーマ「高校生にとってのケータイ、インターネットとは」

文部科学省 政策創造エンジン 熟議カケアイ

<http://jukugi.mext.go.jp/>

ネット熟議 第三回

2011年9月26日(日)00:00 ~ 2011年10月23日(日)24:00

熟議テーマ「これからのネットとケータイを考える」

文部科学省 政策創造エンジン 熟議カケアイ

<http://jukugi.mext.go.jp/>

(ネット熟議に参加するには、サイト上で会員登録が必要です。)

リアル熟議 第三回 2011年11月3日(木) 11:00-16:30

於:大阪ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行大阪支店)

熟議テーマ「これからのネットとケータイを考える」

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 10:30 ~                        | 開場、受付開始   |
| 11:00 ~ 11:05                  | 開会の挨拶<br>総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 消費者行政課<br>課長 玉田 康人 様   |
| 11:05 ~ 11:15<br>11:15 ~ 12:00 | 第一部:<br>アイスブレイク 羽衣学園中高等学校 教諭 米田 謙三 先生<br>[高校生熟議] (これまでの熟議の振り返り、注意事項)<br>熟議ファシリテーター、補助、書記:高校生代表、教職員等             |
| 12:00 ~ 13:00                  | グループごとに昼食   |
| 13:00 ~ 14:45                  | 第二部:熟議<br>[高校生熟議] (これからのネットとケータイを考える)<br>熟議ファシリテーター、補助、書記:高校生代表、教職員等<br>グループプレゼンのためのまとめ作業 [各グループでプレゼン資料制作(PPT)] |
| 14:45 ~ 15:00                  | 会場移動、プレゼン準備   |
| 15:00 ~ 15:45<br>15:45 ~ 16:00 | 第三部:グループ発表<br>(1) グループ発表<br>(2) 総評 日本教育工学協会理事 / 熊本市立河内中学校教頭<br>桑崎剛先生  |
| 16:00 ~ 16:15                  | 閉会の挨拶<br>大阪私学教育情報化研究会副会長 四條暉学園高等学校<br>教諭 飯田 英佳 先生   |

高校生熟議 in 大阪 報告会 2011年11月17日(木)

[報告者]

奈良県立奈良朱雀高等学校 3年 金子 真志

羽衣学園高等学校 2年 松村 紗希

15:30 ~ 16:15

[総務省]

総合通信基盤局 電気通信事業部 電気通信事業部長 原口 亮介 様

於:総務省

16:50 ~ 17:20

[文部科学省]

文部科学大臣 政務官 城井 崇(きい たかし)様

於:文部科学省

## 11. 担当

|               |    |            |
|---------------|----|------------|
| 大阪私学教育情報化研究会  | 米田 | 司会         |
| 熟議懇談会         | 鎌田 | 熟議全般、      |
| EMA           | 吉岡 | 事務局、庶務、受付  |
| 安心ネットづくり促進協議会 | 石原 | 庶務（撮影含む）   |
| 大阪私学教育情報化研究会  |    | 受付         |
| 内田洋行          |    | 会場設営、機材準備等 |

## 12. リアル熟議 成果物と終了後の対応

- 1) 書記は、PC を使い、Word で熟議の内容を記録。
- 2) グループ発表の画面の撮影（又は画像保存）
- 3) リアル熟議終了後、書記が記録した各グループの熟議内容を PDF 化し、発表の画像と併せて、大阪私学教育情報化研究会のサイトにアップデート
- 4) ネット熟議のサイトに大阪私学教育情報化研究会の当該頁のリンク URL を記載
- 5) 第三回終了後、桑崎先生の総評と併せて、大阪私学教育情報化研究会にて取りまとめ
- 6) 総務省、文部科学省へのプレゼンテーション

## 13. ネット熟議 進行と成果物

- 1) ネット熟議の開始は、事前に鎌田さんより案文を作成の上、文科省に提出
- 2) 定刻に自動でネット熟議開始
- 3) 米田先生は、ネット熟議のファシリテーターとして議論の整理
- 4) 関係者は、高校生を含め、ネット上で議論を継続
- 5) 必要に応じて、グループ毎、個別課題での議論が必要な場合には、スレッドを立てる
- 6) ネット熟議終了後、大阪私学教育情報化研究会にて、ネット熟議の成果を整理の上、次回のリアル熟議にて、前回のリアル熟議と併せて発表